

総合工科高等学校 令和 6 年度 1 学年 年間授業計画

教科	科目	総合的な探究の時間	単位数 1 単位	対象学年組 第 1 学年 1 組 ~ 5 組	
組教科担当	1 組 矢野・高橋卓	2 組 玉腰・坂本	3 組 坪沼・木村	4 組 内野・田中	5 組 山口・芳賀
使用教科書	人間と社会				
教科の目標	価値の理解を深める学習、選択・行動に関する能力を育成する学習、体験活動などを通して、道徳性を養い、形成した判断基準（価値観）を高めることで、社会的現実を照らし、よりよい生き方を主体的に選択し行動する力を育成する。				
【知】	卒業後、社会に有為な人材として活躍するための知識を身に付ける。				
【思】	卒業後の進路を見通した類型選択、インターンシップ、課題研究を選択する思考力・判断力を養う。				
【学】	現在の日本及び社会の問題に真摯に向き合い、解決に向けて努力する人間性を養う。				

科目の目標

【知】	【思】	【学】
現在の自分たちを取り巻く社会の問題を知るとともに、自分自身についての理解を深める。	自分たちを取り巻く社会の問題の解決策や自分自身の在り方について考え、判断し、表現することができる。	調べ学習や自己の選択について、主体的に探究し自ら決定することができる。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	学	配当時間
1 学期	A 単元：オリエンテーション 【知】本校での 3 年間のキャリア教育について知る。 【思】各自がどのようにキャリアを積んでいくか思考する。 【学】主体的に取り組んでいく意識を持つ。	・指導事項 オリエンテーションを受け、2 年の類型選択、3 年の課題研究・進路決定に至る道のりを考えながら高校生活を送ることに遺徳を持つ。	・これからの 3 年間、キャリアを積んでいくことに意欲を持つことができる。			○	1
	B 単元：グループワーク 【知】人間関係について知る。 【思】相手を知る方法を考える 【学】良好な人間関係を作る意志を醸成する。	・グループワーク 構成的グループエンカウンターの講演を受ける。 「人間コピー機」	・講演を熱心に視聴し、アンケートに回答するとともに、周りの人と協力をして、ミッションを進めるができる。		○		1
	中間考査						
	C 単元：文化活動学習 【知】大学での学びについて知る。 【思】工業の学びとの関わりを意識して問題を選択し、深める。 【学】模造紙にまとめる。	・指導事項 各クラスを小グループに分け、テーマに沿った調査研究を行う。	・工業の学びとの関わりを含めたオリジナルテーマのある成果物を作成することができる。	○	○	○	6
	D 単元：自己理解 【知】実力テストの結果を受け止める 【思】今後の学習目標を考える。 【学】夏休み中の学習に意欲を持つ。	・指導事項 業者（ベネッセ）による「実力テストの振り返りと自己理解」の講演を聴き、夏休みの学習について各自が主体的に取り組む意欲を持つ。	・熱心に講演を聴き、今後の学習に意欲を持つことができる。		○		1
期末考査							
2 学期	E 単元：学ぶことの意義 【知】大学、専門学校のオープンキャンパスに参加する。 【思】各学校の学びの特色について考察する。 【学】各自の進路について考える。	・指導事項 夏休み中に専門学校・大学のオープンキャンパスに参加し、報告書にまとめる。	・オープンキャンパスに参加し、報告書にまとめる作業を通して各自の学びの方向性を考えることができる。			○	2

	F 単元：適性検査及び振り返り 【知】自分を知る。 【思】自分の適性について考える。 【学】適性を踏まえて類型選択を考える。	・指導事項 適性検査を実施し、自分の適性について知る。また、結果を参考に今後について考える。			○	○	3
	中間考査						
	G 単元：大学・専門学校模擬授業 【知】各類型の学びを知る。 【思】各自に最適か検討する。 【学】主体性を持って類型を選択できる。	・指導事項 大学・専門学校に模擬授業を受講に行き、今後の類型選択や進路の決定に活かす。あわせて、専門学校を講師に招き、各類型の学びについて説明を受ける。	・各自が自分に適した類型をどんな学びかを理解した上で選択することができる。	○	○		4
	H 単元：SNSの安全な利用 【知】ネットの危険性について知る。 【思】トラブルに巻き込まれない使用方法を考える 【学】危険な使用をしない強い意志を醸成する。	・指導事項 東京ファミリールールを外部講師として招き、「ネット・スマホをスマートに」という講演を受ける。	・講演を熱心に視聴し、アンケートに回答するとともに、今後トラブルを起こさない使用ができる。	○	○	○	2
	期末考査						
3 学 期	L 単元：類型選択 【知】類型と進路について知る。 【思】類型選択の理由がはっきりと伝えることができる。 【学】自信と自覚を持って類型を選択できる。	・指導事項 説明会及び本校職員による類型授業を受講し、2年次より分かれる類型を選択する。	・卒業後の進路も含めて考察した結果として類型を選択することができる。	○	○	○	4
	M 単元：まとめ	・指導事項 1年間の学びを振り返り、次学年の学習につなげる。	・次学年の類型の学び、インターシップに意欲を持って臨むことができる。			○	2
	学年末考査						